

中学生に海技者への手掛かりを紹介

～ 2012 年度 国立高等専門学校（商船学科）5 校合同進学ガイダンス～

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っているが、この一環として、今般、国立高等専門学校（商船学科）5 校（富山・鳥羽・広島・大島・弓削）合同の進学ガイダンスを全国 3 カ所で開催した。



横浜では銀河丸船内で開催



神戸会場の模様

商船学科を有する国立高等専門学校（以下、高専）5 校の合同進学ガイダンスは 2008 年から開催しているもので、今年で 5 回目。2012 年度のガイダンスは、国土交通省、文部科学省の他、富山・三重・広島・山口・愛媛・神奈川・兵庫各県の教育委員会及び全日本船舶職員協会の後援の下、7 月 1 日に神戸（神戸海洋博物館）、同 16 日に横浜（横浜に停泊中の航海訓練所練習船

「銀河丸」船内）、同 29 日に広島（広島国際会議場）でそれぞれ開催した。

ガイダンスには、3 会場合わせて中学生とその保護者、教師等約 250 名※1)が参加。何れの会場においても、始めに五十嵐誠当協会副会長が挨拶し、わが国にとっての海運業の重要性や優秀な日本人船員の必要性に言及した後、高専の先生※2)から、船員資格が得られる商船学科の概要や、学校生活等について説明があった。



広島会場の模様
（広島では初めての開催）

次に、高専を卒業後、現在は当協会会員会社の第一線で活躍している航海士及び機関士※2)が、高専入学の動機や学生生活の思い出、船員の業務とそのやりがい等について、写真や動画を交えつつ紹介した。

また、会場には学校毎の相談ブースを設け、各校の先生や現役の学生が各校の概要や特色について参加者に説明した他、入試や学生生活、卒業後の進路等に関する参加者からの様々な質問に親身に対応した。



各校相談ブースの様相 (写真左：広島会場・同右：横浜会場)

その他、高専の学生が乗り組む練習船の雰囲気に参加者に体感してもらうべく、神戸会場では弓削商船高専の練習船「弓削丸」で神戸港内を周る体験乗船を行い、横浜会場では、銀河丸の船内見学会を実施した。

各会場とも、講演内容を踏まえ、商船系高専への進学や船員の仕事・生活について各校の先生方や高専出身の若手海上社員に熱心に質問する中学生や保護者の姿が多く見られ、船員職に対する参加者の関心の高まりが感じられた。



弓削丸による乗船体験の様相 (神戸会場)

当協会としては、ガイダンスに参加した上で高専に進む中学生も増えており、また、この取り組みが各校の一般向け広報にも寄与していると思われることから、来年度以降も引き続きガイダンスを開催する予定である。

(※1) 3会場の参加者(計 251名)内訳

神戸会場：88名 (中学生・保護者 64名・教師等 24名)、横浜会場：73名 (中学生・保護者 54名・教師等 19名)、広島会場：90名 (中学生・保護者 66名・教師等 24名)

(※2) 2012年度ガイダンスの講師一覧

【高専総合説明】

神戸会場：鳥羽商船高専 石田邦光先生、横浜会場：富山高専 見上博先生、

広島会場：広島商船高専 笹健児先生

【高専卒業生】

神戸会場：JX日鉱日石タンカー 境慎吾 三等航海士、川崎汽船 神原健太 三等機関士

横浜会場：JX日鉱日石タンカー 中島悠樹 二等航海士、川崎汽船 浅井将希 三等航海士

広島会場：商船三井 児玉賢志 一等機関士、日本郵船 中村大 二等機関士